

Disclosure

情報開示



ANNUAL REPORT

2023

アニュアルレポート



社会福祉法人光仁会富竹の里
KOUJINKAI TOMITAKENOSATO

KOUJINKAI TOMITAKENOSATO ANNUAL REPORT 2023

CONTENTS

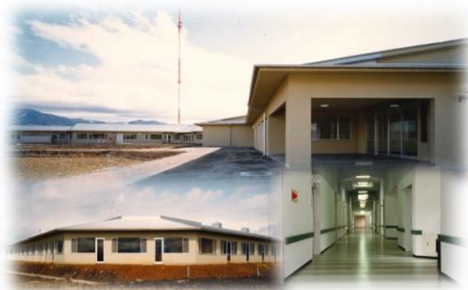
法人沿革	Corporation history	… 1
軌跡を辿る	Trace the trajectory	… 2
さらなるお客さま満足のために	For further customer satisfaction	… 3
法人概要	Corporation profile	… 4
経営理念	Management philosophy	… 5
倫理行動規範	Code of business conduct and ethics	… 5
持続可能な開発目標	SDGs (Sustainable Development Goals)	… 6
ニュース & トピックス	News & Topics	… 7
1	取り巻くリスクと機会への対応	Responding to risks and opportunities … 7
2	働きやすい職場環境整備	Comfortable work environment … 14
3	サービス品質の維持・向上	Maintaining and improving service quality … 15
4	人材育成	Human resource development … 16
5	地域社会とのつながり	Connection with the local community … 17
6	地域貢献	Community contribution … 18
7	危機管理体制	Crisis management system … 19
8	看取り介護	End-of-Life care … 21
データ	DATA	… 24
財務ハイライト	Financial highlights	… 27
公正な事業慣行	Fair business practices	… 28
各事業所のトピックス	Topics of each business office	… 30

法人沿革 Corporation history

起源 Origin

1986年（昭和61年）に「社会福祉法人光仁会富竹の里」は誕生しました。当時は、戦後の医療技術の進歩、食生活の向上、国民皆保険制度の確立などにより、人生80年時代を迎え、世の中は高齢化社会の時代。長野市においても高齢者数は約3万6千人と人口の約10%を超え、認知症や寝たきり高齢者の介護を真剣に考えなければならぬときでした。このような状況に鑑み、特別養護老人ホーム富竹の里を建設、運営し、社会的要請にこたえ、老人福祉の向上に寄与することを目的として法人が設立されました。

CHAPTER I 1986～



社会福祉法人光仁会富竹の里の設立

特別養護老人ホーム富竹の里、
富竹の里ショートステイホームの開設

CHAPTER II 1990～



在宅福祉事業への飛躍

デイサービスセンター、
ホームヘルプサービスの開始
（水戸黄門様出演者御一行様来訪 1993.3）

CHAPTER III 2000～



介護保険制度施行

地域密着型施設、
地域包括支援センターの開設
富竹の里デイサービスセンターの新築移転

CHAPTER IV 2016～



地域包括ケアに向けて

地域福祉の発展に全力をささげていただいた方々への感謝の念を捧げつつ、新たな時代に向かって歩み始めています。

軌跡を辿る Trace the trajectory

創設期

昭和58年	4月	老人ホーム建設構想検討開始
60年	4月	法人設立準備委員会発足
61年	7月	社会福祉法人光仁会富竹の里設立認可
	8月	特別養護老人ホーム富竹の里建設着工
62年	4月	特別養護老人ホーム富竹の里開所（定員50名）
	7月	短期保護事業開始（定員4名）
63年	2月	在宅寝たきり老人入浴サービス事業開始
	4月	社会福祉士及び介護福祉士方施行

推進期

平成2年	4月	長野市古里デイサービスセンター開所
	6月	社会福祉関係8法の改正
3年	4月	短期保護事業定員2名増（6名） 「家庭奉仕員」が「ホームヘルパー」に改称
5年	5月	介護福祉機器貸付事業開始
6年	8月	富竹クリニック開院
7年12月		短期保護事業定員2名増（8名）
9年10月		長野市在宅介護支援センター富竹の里開所
	11月	富竹の里家族会結成
10年	6月	富竹の里ホームヘルプセンター開所

充実期

平成12年	2月	短期保護事業定員6名増（14名） 機能訓練室等を準個室へ改修 長野市から古里デイサービスセンター無償譲渡
	9月	特別養護老人ホーム富竹の里定員2名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員2名減（12名） 富竹の里デイサービスセンター定員5名増（25名）
13年	4月	苦情解決相談委員設置
	6月	評議員会制度導入
14年	6月	富竹の里デイサービスセンター定員5名増（30名）
	11月	富竹の里デイサービスセンターホール増設
16年	4月	富竹の里和み開所（定員20名） 特別養護老人ホーム富竹の里定員4名減（48名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名増（16名）
	6月	富竹の里デイサービスセンター定員3名増（33名）

変革期

平成18年	4月	高齢者虐待防止法制定 富竹の里介護予防（訪問、通所、短期）3事業所指定
20年	4月	後期高齢者医療制度開始
	10月	介護付有料老人ホーム上松ホーム開所（定員15名）
23年	4月	富竹の里、富竹の里和み スプリングラー運用開始
24年	6月	介護付有料老人ホーム上松ホーム定員9名増（24名）
25年10月		長野市地域包括支援センター富竹の里開所
27年	3月	富竹の里デイサービスセンター移転新築
	7月	介護予防事業（生活らくかる運動塾）開始
28年	1月	旧デイサービスセンターを富竹の里いきいきセンターへ名称変更
	4月	社会福祉法改正
	10月	富竹の里デイサービスセンター定員2名増（35名）
29年	1月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和とサービス指定（定員15名）
30年	4月	富竹の里大規模改修工事・多床室プライバシー保護改修工事竣工 介護予防（通所、訪問）が長野市の実施する総合事業へ移行
令和1年12月		富竹の里定員4名増（52名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名減（12名）
令和3年	9月	富竹の里定員4名増（56名） 富竹の里ショートステイホーム定員4名減（8名）
令和4年	3月	富竹の里デイサービスセンター 通所型基準緩和とサービス廃止
令和4年	7月	富竹の里ホームヘルプセンター廃止

さらなるお客さま満足のために For further customer satisfaction

特別養護老人ホーム富竹の里

富竹の里ショートステイホーム



特別養護老人ホーム富竹の里は、4人部屋に間仕切りの建具を設置し、
プライバシーに配慮された施設です。
個室の特養より、低額な料金でご利用いただけます。
より一層、皆様のお役に立てる施設を目指します。



地域を支える社会福祉事業を実践します
Social welfare service to support communities

法人概要 Corporation profile

法人名	社会福祉法人光仁会富竹の里（こうじんかいとみたけのさと）
代表者	理事長 中野 清史（なかの きよし）
所在地	〒381-0006 長野県長野市大字富竹字堰下1621番地（法人登記） TEL（026）296-7383（代） FAX（026）296-7384
設立	1986年（昭和61年）8月28日
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
事業内容	社会福祉事業

【第一種社会福祉事業】
・特別養護老人ホーム事業

【第二種社会福祉事業】
・老人短期入所事業
・老人デイサービス事業

主な事業

【公益事業】
・居宅介護支援事業
・有料老人ホーム上松ホームを経営する事業
・特定施設入居者生活介護事業
・長野市地域包括支援センター事業
・介護保険法に基づく第一号通所事業

特別養護老人ホーム富竹の里

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

特別養護老人ホーム富竹の里和み

TEL026-296-7705 FAX026-296-7384

介護付有料老人ホーム上松ホーム

TEL026-237-1660 FAX026-237-1661

長野市地域包括支援センター富竹の里

TEL026-295-7780 FAX026-296-8025

富竹の里ショートステイホーム

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

富竹の里デイサービスセンター

TEL026-296-2867 FAX026-296-7384

光仁会富竹の里介護支援センター

TEL026-296-8004 FAX026-296-7384



経営理念 Management Philosophy

私達は、

地域に開かれた信頼される施設づくりを目指します。

利用者の人権を尊重し、明るく健康的でやすらぎのあるサービスの提供を目指します。



光仁会の「**K**」は「**光**」を意味し、富竹の里の「**T**」は「**人**」を意味しています。光仁会の光（羅針盤）が、人（ご利用者、ご家族、地域住民、職員）の心に届く暖かい光（かがやき）を射しています。また、人の足元をてらし道筋を示しています。光仁会の名称は、「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」という意味です。

倫理行動規範 Code of business conduct and ethics

サービスに関すること

- すべての方に対し、平等で公平な介護サービスに努めます。
- 思いやりをもって、私たち一人ひとりができることを精一杯行います。
- 常に自己研鑽に励み、根拠に基づいた安全で効率的な介護サービスに努めます。
- 専門職として高い倫理観を持って、職務に専念します。

ご利用者の保護等に関すること

- 人権・権利を尊重します。
- 知り得た事柄の守秘義務を厳守し、個人情報適切に取り扱い保護します。
- 原則として身体拘束を行いません。
- 相談苦情は、真摯に受止め、迅速・丁寧・公正に対応します。

チームワークに関すること

- 多様性を尊重し、相手の身になって、相手が不快・不安となる言動を慎みます。
- 簡潔で明確な言い方で相手に伝えます。
- 確認・連絡・報告を徹底します。
- 社会・社内のルールを守ります。
- 知識やアイデアを共有して、お互いの成長を目指します。

環境に関すること

- 省資源・省エネルギー活動を推進します。
- 5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）の基本行動により、業務の効率化・質の維持向上・安全管理・教育訓練等の推進に努めます。

持続可能な開発目標 SDGs (Sustainable Development Goals)



“SDGsと富竹の里” 持続可能な開発目標



SDGsとは、
すべての人たちが幸福に暮らせるための
世界共通の目標であり、
光仁会富竹の里の思いと同じです。
新たな価値観で中期経営計画を進めます。

光仁会富竹の里（私たち）の5つの思い

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 【使命】 | 【理念】 |
| ●社会的要請にこたえる | ●地域に開かれ信頼される |
| ●福祉の向上に寄与する | ●人権の尊重 |
| | ●明るく健康的で安らぎを |
| 光仁会とは「愛と輝きをもととして互いに慈しみあう会」 | |

光仁会富竹の里の5つの使命に重なる「SDGs17」の目標

【国連の目標】				
すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	働きがいも経済成長も	住み続けられるまちづくりを	パートナーシップで目標を達成しよう
【富竹の里の思い】				
明るく健康的で安らぎを	地域に開かれ信頼される	社会的要請にこたえる	福祉の向上に寄与する	互いに慈しみあう
【富竹の里が推進していく活動例】				
☐ 医療法人と連携した地域貢献活動 ☐ サービスの質の向上 ☐ 新たな福祉医療体制	☐ 研修・研究発表・資格取得等の支援 ☐ 環境改善できる職場 ☐ 関係機関と連携 ☐ 地域への教育・学習・相談支援	☐ 健康経営 ☐ 地域の雇用に貢献 ☐ 働きやすい職場環境 ☐ くるみん認定	☐ 地域共生社会・公益的な取り組み ☐ 非常災害対策	☐ 行政・他団体・住民との連携 ☐ 目標やターゲット等と親和性の高い事業実施 ☐ 関係者への協力

その他「SDGs17」の目標

【国連の目標】					
貧困をなくそう	飢餓をゼロに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	産業の技術革新の基盤をつくろう
【富竹の里が推進していく活動例】					
☐ 社会福祉法人減免	☐ 非常食や水の備蓄	☐ くるみん認定	☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ 施設設備の近代化 ☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ ICT・IOT・AI等でDX化
【国連の目標】					
人や国の不平等をなくそう	つくる責任使う責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に
【富竹の里が推進していく活動例】					
☐ くるみん認定	☐ 建物設備の計画的な改修と建て替え	☐ 非常災害対策 ☐ 災害派遣福祉チーム員の養成・派遣 ☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ カーボンニュートラル・脱炭素	☐ ガバナンス・コンプライアンス体制の整備 ☐ 包摂的な制度への協力

* カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること

* DX：「Digital Transformation」進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること

1

取り巻くリスクと機会への対応

Responding to risks and opportunities

**4 YEARS
OF
ACTION**

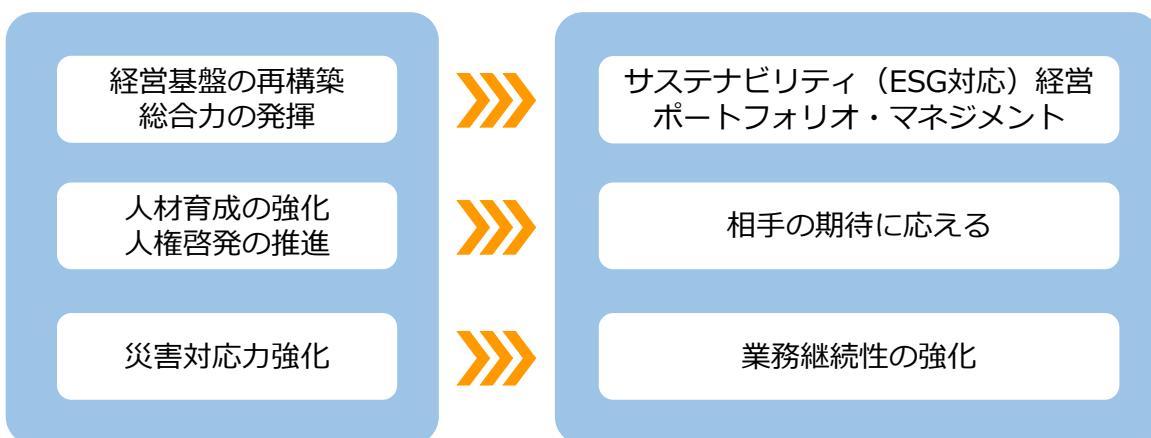
中期経営計画 2023

創造と進歩 Creation & Progress

不可実性が高い時代においても、当法人独自のインテリジェンスを駆使しながら、時代の先を読み、変化に対応できるための指標です。2023年4月～2027年3月の4年計画である中期経営計画を作成しました。計画に沿って実行し、進捗状況を確認しながら、ビジョンを実現し、パーパス（存在意義）を果たしてまいります。



中期経営計画の骨子 Outline of business plan



ビジョン実現に向けた重要目標達成指標／年 Key Goal Indicator

法人事業活動資金収支差額	4千万円以上	地域に役立つ事業を通じて、健全な利益の増大を図ります
法人利益率	6.0%以上	「収入最大、支出最小」で、利益率の引き上げを図ります
入所系事業所	98.0%	4億8千1百万円
在宅系事業所	80.0%	1億1千7百万円
居宅介護支援	介護給付1,300件、介護予防給付120件、総合事業70件	
介護予防支援	介護予防給付1,700件、総合事業1,500件	

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画1年目の目標と進捗状況

【法人事務局】

達成目標	具体的アクション	1年目の進捗	達成度	所感・今後の課題等
コスト削減	相見積り	当初見積り総額より、 1,820,412円削減 (29.5%減)	A	・ 3社以上の相見積りが効果的 ・ 質とのバランスで実施継続
	代替品調査	59,717円削減 ・ 文房具を廉価品に切替 ・ 清拭タオル ネット購入	B	・ 物事の惰性化の見直しが重要 ・ 中古品の検討も並行して実施
	補助金獲得	総 額 17,036,732円 (内訳) ・ 新型コロナ関連 4,658,615円 ・ 結核健康診断事業 54,229円 ・ I T 導入補助金 (経理ソフト) 2,323,888円 ・ I T 導入コスト削減促進事業 (IT更新) 10,000,000円	A	・ 使える補助金施策のチェック ・ 補助金の申請代行業者の活用 ・ 時間及びコストの削減効果
	空調設備更新	2社より見積り取得済み 1社見積り依頼中	-	・ 相見積もり進行中
	節電	法人全体で、前年度比 31,128kWh削減 ⇒一般家庭7.5年分の消費電 力量相当 ※一般家庭の年間消費電力量 全国平均は4,175kWh (出典：環境省「令和3年度 家庭部門のCO2排出実態統 計調査 資料編(確報値)」 図1-69～図-72(p.39～40))	A	・ 使用料金としては前年度比 4,153,516円削減だが、 国の補助金や燃料調整費の値下 がり等の要因もある
業務効率化	I C T 化推進	・ ケアマネのタブレット端末 の携帯 ・ 電帳法対応サービス (N I コラボ) の導入 ・ 労務管理の I C T 化	C	・ タブレット端末の携帯により、 帰社後のデスクワークが1件に つき5～10分程削減 ・ N I コラボは、電帳法以外にも 有効活用が見込めるため、効果 検証の研究 ・ 着したばかりの労務管理は、 外部委託等の他サービスと比較検討 ・ I C T 化推進のためにはセキュ リティの強化も必要なため、コ ストの試算が必要
	業務標準化	事務所職員の業務掌握、業務 ごとの所要時間計測中	-	・ 事務所の業務効率化等により、 他事業所の事務作業を負担する ことで、法人全体の業務効率化 を図る
	社用車の運用 見直し	全車リース化 リースバック検討中	-	・ 金銭及び時間コストの削減にな れば導入予定

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善 (達成率50%以上80%未満)
C	やや改善	目標設定前より改善 (達成率10%以上50%未満)

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画1年目の目標と進捗状況

【特別養護老人ホーム富竹の里・富竹の里和み、富竹の里ショートステイホーム】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	1年目の進捗	達成度
コスト削減	7 12 13 14 15	ペーパーレス	出状書類チェック 帳票中止、出力変更 資料 原則A4/1枚 資料電子化	ケア帳票,研修資料,家族通知等 約80,000円/年 削減 (切手代等の通信費含む)	B
		節電	照明ON/OFF	管理者ラウンドで意識向上	A
			冷暖房ON/OFF 温度設定管理	管理者ラウンドで意識向上 富竹の里和み空調設備更新	B
		削減意識醸成	相見積り、値引き 消耗品等金額表示	富竹の里：82,466円削減 富竹の里和み：51,300円削減	A
利用率 特養：98% 短期：80%	3 4 8 9 11 17	入所空床減少	広報活動 ホームページ更新	34件（前年比1.8倍）	A
			他機関との連携	居宅介護支援事業所への営業 ・64事業所訪問 ・パンフレット320部配布 入所待機者数 ・9月末から3月末 42名増加	B
			事前契約	富竹の里：3件 富竹の里和み：1件	C
			2週間以内入所	富竹の里：16.5日（31日） 富竹の里和み：28.2日（26日） （括弧内2022年度）	B
		入院空床減少	退院許可後翌日受入	体制整備	B
			口腔衛生管理	歯科衛生士契約 LIFE等加算算定	A
			体調管理 嘱託医等との連携 ACP推進	（入院日数） 富竹の里：510日 富竹の里和み：325日	C
			介護事故・感染予防	効果測定、モニタリング	B
		減収見える化	空床・入院減収額	全職員へ周知	B
サービス質 維持・向上	4 8 10 16 17	人材育成	他者との連携	P16 参照	B
			資格取得	介護支援専門員1名合格	C
			効果的研修	P14、P16、P19 参照	B
			希望実現	P17、P22 参照	B
			ケア研究	P21 参照	A

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画1年目の目標と進捗状況

【上松ホーム】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	1年目の進捗	達成度
コスト削減	6 7 12 13 14 15 16	ペーパーレス	ご家族への通知	・オクレンジャーの活用 郵送で実施していた通知物 8件を電子化	A
			職員間の送り方法	・文房具を廉価品に切替	A
		節電・節水等	食洗器の使用	・1日5回の使用を3回へ変更 洗剤の使用期間 約1.5倍 約10,000円/年 削減	B
			節電	・照明ON/OFF ・冷暖房ON/OFF ・温度設定管理 【使用電力】 前年度比 8,715kWh削減 (一般家庭の年間消費電力量の 約2年分) 【水道代】 前年度比 231,216円削減 (ほぼ2ヶ月分使用料金相当)	A
			節水	・水量調節 ・こまめに水を止める ・食洗器の効率的な使用	A
			ごみの捨て方	・ごみを小さくして捨て、ごみ 袋の使用量削減	C
		削減意識醸成	相見積り、値引き 中古品購入 レンタル	・548,465円削減	A
利用率98%	3 4 8 9 11 17	入所空床減少	事前契約	・入所待機者がいなく実施不可 ・居宅介護支援事業所への営業 64事業所訪問 パンフレット320部配布 (待機者増加につながらず) ・職員の意識改革	C
			2週間以内入所		C
		入院空床減少	退院許可後翌日受入	・柔軟な受け入れ態勢の構築	C
サービスの 質等の向上	4 8 10 16 17	人材育成	資格取得	・介護支援専門員1名合格	C
			服薬ロボットの導入	・看護職員の業務効率化 ・医学知識の向上	B
			利用者家族等の希望 実現	・外出、リハビリ、レクリエー ション、面会の緩和	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画1年目の目標と進捗状況

【富竹の里デイサービスセンター】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	1年目の進捗	達成度
稼働率80%	3 4 8 11	サービスの質 向上	営業エリア拡大	・利用率 前年度72.2%⇒今年度73.9% ・新規契約数 前年度30件⇒今年度37件	B
			職業倫理の醸成 人材育成	・毎月研修会の実施	B
			適切なサービス費用 の設定	・食費の見直し680円⇒730円	B
			特色あるサービス	・セラピストによる継続的な機能訓練の実施と評価 ・重度者の積極的な受け入れ 中重度者割合30%以上未達成	B
		情報提供	広報活動	・毎月の空き情報の提供 ・ホームページの更新	B
		運営状況の 見える化	稼働実績の見える化	・稼働状況及び実績書類の掲示 ・経営状況の全職員への周知	A
			“対目標値”の意識		
コスト削減	3 8 17	整理整頓	5 S 活動	・不要物の廃棄 ・適切な設備更新での環境整備	B
		印刷物の削減	不要書類の削減 印刷コスト見える化 裏紙の活用	・前年度比25,045円削減 前年度比0.84倍	B
		適切な送迎	送迎ルート見直し 適切な車両整備	・ガソリン使用量は前年度比 1.01倍 前年度5,999ℓ 今年度6,041ℓ（42ℓ増） （ハイエースタンク容量70ℓ）	B
		節電	節電効果の見える化 無理のない節電	・電気使用量は前年度比1.04倍 前年度61,733kWh 今年度64,279kWh 夏季：前期より使用量増 （全事業所同様） 冬季：前期より使用料増 （他事業所減少）	B
		削減意識醸成	相見積りの徹底 削減実績の見える化	・190,176円減	B
非常時及び 災害時対策 の構築	4 11 7	地域との連携	地域防災訓練参加	・富竹地区の防災訓練に参加	B
		マニュアルの 見直し	B C P策定 各種マニュアル見直し	・策定済み ・研修実施	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画1年目の目標と進捗状況

【光仁会富竹の里介護支援センター】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	1年目の進捗	達成度
居宅支援 給付UP	3 4 8 11 17	新規契約	他機関との連携 介護支援専門員増員 エリアの緩和と拡大 認定前、入院中等の 事前介入	・病院-医療機関-老健との連携 ・近隣の包括等への挨拶 (若槻、吉田、北長池、豊野サ ブセンター) ➡エリア外3事業所から6名	A
		加算算定	初回加算 入院時情報提供加算 退院退所加算 通院時情報連携加算	➡51回 ➡37回 ➡15回 ➡3回 *合計106回の加算算定	A
		サービスの質 向上	専門的・各種研修 自己研鑽 他機関との連携 健康管理	・研修会の実施と参加(14回/年) ・包括、地域、民生児童委員と の連携と相談 ・社会資源の紹介と活用	A
		運営状況の 見える化	給付実績の見える化	・経営状況の全職員への周知 ・居宅介護支援及び予防マネジ メント実績の回覧 ・ケアマネ別プラン作成数表示 と常勤換算算出値の回覧 *目標値対比:100.8%	B
			“対目標値”の意識		
コスト削減	3 8 17	整理整頓	5S活動	・不要物の管理 ・使用可能品のリユース ・環境整備 ・気づいたら即座に行動 ・ごみの減量	A
		ペーパーレス	紙媒体(提供票等) の電子化とその送信	・現状ケアプランFAX実績管理 ➡FAXで1か月250枚使用 ・ケアプランデータ連携システム導入後 ➡約3,000枚/年 削減見込み	A
		印刷物削減	不要な書類の削減 カラー印刷の制限 裏紙の活用	・コピー両面集約印刷 ➡実績控:A4約260枚/年 削減 ・2色刷り(カートリッジ追加無)	A
		節電	無理のない節電	・蛍光灯6本削減 ・冷暖房の時間設定と温度設定 ・電源ON/OFF(スイッチの設置) ・夏季(3か月)電気ポット中止 ➡各自水筒持参	A
		削減意識醸成	削減実績の見える化	・伝言メモ付箋中止➡裏紙変更 ・自転車の活用(ガソリン削減 と健康維持と増進)	A
効率化	3 4 8 17	ICT機器の 導入検討	ほのぼのタブレット ネットワークの可否検討 ケアプラン連携システム検討 バイタルリンク等医療連携 システム導入検討	・ほのぼのタブレットの試験的運用 ・チャットワーク等の医療連携システム活用	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善(達成率50%以上80%未満)
C	やや改善	目標設定前より改善(達成率10%以上50%未満)

中期経営計画 ビジョン実現に向けた計画 1 年目の目標と進捗状況

【長野市地域包括支援センター富竹の里】

達成目標	SDGs	行動項目	具体的アクション	1年目の進捗	達成度
コスト削減	7 12 13 14 15	ペーパーレス	5 S 活動	・ 不要物の廃棄 ・ 適切な設備更新での環境整備	B
		節電	無理のない節電	照明ON/OFF	A
				冷暖房ON/OFF 温度設定管理	A
		削減意識醸成	相見積りの徹底	371,115円削減	B

判定区分		判定基準
A	達成・概ね達成	目標達成または達成率80%以上
B	改善	目標設定前より改善（達成率50%以上80%未満）
C	やや改善	目標設定前より改善（達成率10%以上50%未満）

2

働きやすい職場環境整備 Comfortable work environment



チームケア



「従業員満足なくして顧客満足なし」

職員が自分の職場や仕事に誇りを持ち、働きやすく働きがいを得られ、お互いの信頼関係のもと、持てる能力をフルに発揮できる職場環境の整備を進めています。

ワーク・ライフ・バランス支援、ダイバーシティの推進をととして、職員の確保、働きがいや生きがいの向上、新しい発想や価値創造の実現を目指します。

一般事業主行動計画策定

職員が仕事と子育てを両立させることができ、全職員が働きやすい環境を作ることによって、個々の職員の能力を十分に発揮できるよう計画を作成しています。

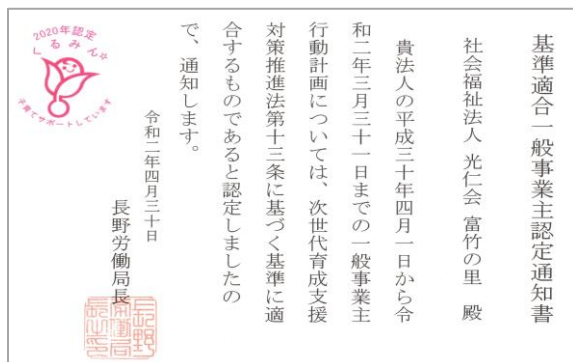
【目標】

男性職員の育児休業または子の看護休暇の1名取得

○育児休業を取得した職員から育児休業中の体験談収集

○朝礼等を通じて育児休業の体験談を発表し、育児休業制度の理解と取得促進の強化

「くるみん」認定



規則変更

法改正等に対応するための規則変更

- ☒ 職員就業規則
- ☒ 給与規定

ハラスメント対策



全職員が動画視聴・ハラスメント理解度チェックテスト実施しました。

ダイバーシティ&インクルージョン研修



職員の確保、働きがいや生きがいの向上、さらには新しい発想や価値の創造の実現を目指しています。

各種休暇の取得状況

年次有給休暇（約12日）

子の看護休暇（100%）

法令遵守



社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。
(定款)

品質方針書の作成と伝達

理念や倫理行動規範、業務の基準などが記され、サービスの質向上に取り組むための冊子「品質方針書」を制作し、雇用形態に関わらず全スタッフに配布しました。
また、職員研修や新規職員採用時等には本書をテキストとして使用し、職員間で統一できるよう取り組みました。



苦情解決第三者委員会

古里・柳原・長沼の3地区の民生児童委員にご協力いただき、ご利用者やご家族からの相談・苦情等に対応する体制を整えています。

1年間の相談・苦情・介護事故・感染症等の報告を行い、より質の高い、ご利用者にご満足いただけるサービスの提供を目指しています。

顧客満足度アンケート実施

毎年、満足度の維持・向上の取組みとして、満足度アンケートを実施しています。
安全と尊厳の保持、サービスの質確保、職員の負担軽減を継続的に取り組みます。

単位 %

事業所名	区分	信頼性	応答性	確実性	共感性
特養 富竹の里	満足～やや満足	100.0	100.0	100.0	100.0
	不満～やや不満	0.0	0.0	0.0	0.0
	未記入	0.0	0.0	0.0	0.0
特養 富竹の里和み	満足～やや満足	100.0	100.0	100.0	100.0
	不満～やや不満	0.0	0.0	0.0	0.0
	未記入	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所	満足～やや満足	96.3	88.9	97.3	100.0
	不満～やや不満	3.7	11.1	2.7	0.0
	未記入	0.0	0.0	0.0	0.0
通所介護	満足～やや満足	94.8	94.3	96.2	96.2
	不満～やや不満	0.9	0.5	0.2	0.4
	未記入	0.3	5.2	3.6	3.4
有料 上松ホーム	満足～やや満足	100.0	91.7	100.0	91.7
	不満～やや不満	0.0	2.7	0.0	5.6
	未記入	0.0	5.6	0.0	2.7



キャリアアップ



新人職員・役職者・専門職員等を対象とした社外・社内研修を年間研修計画に沿って実施しています。
資格取得や資格更新のための研修や受験費用はすべて法人負担です。

環境の変化に対応すべく、固定概念にとらわれない意識改革、サービス向上にチャレンジする意欲と能力、高い倫理観と幅広い知識を持った職員の育成に取り組みました。

身体拘束廃止・高齢者虐待防止・認知症ケア研修



身体拘束・虐待の基本指針等の確認、高齢者虐待防止に向けた管理運営についての学び。
研修を実効化させる秘訣「テスト」も実施。

グループホームアウル登別館さんで借りしたDVD「一人の心を見つめるケア」を視聴。

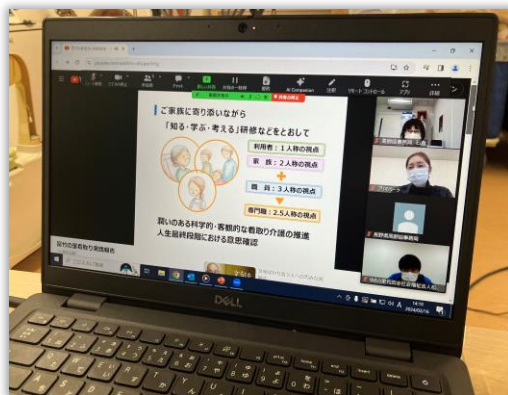
社会経済情勢や荒ぶる自然災害で気持ちが沈んでいた私たちの心の琴線に触れ、涙が溢れ、萎えた心を癒し、冷えた心を温め、ご利用者の豊かな人生のために気持ちを奮い立たせてくれました。

他法人の施設職員との勉強会
(zoom開催)

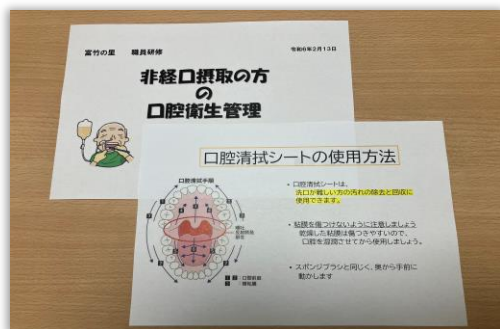
私たちは、施設内だけではなく、他法人の施設職員さんとの勉強会を開催し、課題解決やサービス質向上を推進しています。

さまざまな物事を異縁連想したり、創造的借用を試みることが、新しいものの見方やアイデア、いわゆるイノベーションを生み出すためには重要です。

人脈構築にもつながりました。



口腔ケアの質向上



特別養護老人ホームでは、歯科医師、歯科衛生士2名と連携し、定期的に口腔衛生管理をしています。

施設ご利用者の誤嚥性肺炎の予防、健康維持や増進、生活の質の向上等を目的とし、口腔ケアの充実に向けた取り組みを推進します。

地域共生



施設サービス・在宅サービスの事業所内運営に止まらず、地域と共に歩み続けています。

施設サービスをご利用されるお一人おひとりが、地域の一人として、この地に暮らし続けることを大切にしています。

感染症で諦めていた“コト”、止まっていた“トキ”が、またゆっくりと動き始めました。

「秋祭り」4年ぶりに開催

富建千引神社神楽保存会の皆さまによる獅子舞です。秋晴れの爽やかな風によって、鮮明な笛と太鼓が響き渡ります。無病息災、延命長寿、所内安全を願い、悪魔払いと四方固めを行っていただきました。



「認知症サポーター養成講座」3年ぶりに開催



2017年からの取り組み、3年ぶりの開催です。「キャラバン・メイト」による劇等で、認知症を理解し、偏見を持たず温かく見守ること、認知症の人たちが安心して暮せるまちづくりなどについて学びました。受講の証として、認知症サポーターカード・オレンジリングを配布。

勇気ある声かけが、命を救うことにつながります。

盆供養

お盆はご先祖様の霊を祀る伝統的行事であり、日本人が大切にしてきた行事の一つです。

地元、曹洞宗の大寺・信叟寺(しんそうじ)のご住職により、盆供養を執り行いました。

3密を避けるためライブ配信も行いました。



カフェでデザート



7月の少し風が吹いた日、近くのプリン屋さんにご利用者とお出かけ。自らメニューを見てチョイス。木枠のすき間から心地良い風が吹き、良いカフェ日和でした。

運営推進会議

地域密着型サービスでは、2月に1回活動状況を報告し、助言を頂きました。地域に開かれた運営で、サービスの質の確保を図ることを目的としています。

相互扶助



社会経済情勢の変化や少子高齢化（人口減少）の進展、自然災害が多発する今後の社会を展望すると、みんなで支え合っていくこと（互助）を再構築する必要があります。

「地域包括ケアシステム」の一員としても、地域の支え合い体制づくりや地域住民の方に対する効果的かつ効率的な介護予防支援等を推進するための取り組みを実施しました。

能登半島地震被災地へ緊急支援物資搬入



2024年1月1日に発生した能登半島地震。震災から5日後、施設で用意するありったけの物資を1台のハイエースに積み込んで被災地の石川県へ。

令和元年東日本台風（台風19号）では、多くの方に助けていただきました。次は、私たちが今できることをするとき。

お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

学生の施設見学を3年ぶりに再会

平成21年から信州スポーツ医療福祉専門学校介護福祉学科1年生のみなさんの施設見学を受け入れています。

感染対策を徹底し再開。先輩は後輩たちへの説明に力が入ります。

今回の施設見学を今後の学びに役立てていただければ幸いです。



～住み慣れたまちで健康で暮らせるために～ 施設スペースの無料開放



平成30年12月より、地域住民の方に施設スペースを無料開放し、毎週約15名の方が介護予防運動に参加されています。

健康運動指導士により指導が行われていて、健康維持・増進につながっています。

生涯現役社会の実現に向けて、高齢者等の活躍できる地域づくりができればと考えています。

7

危機管理体制 Crisis management system



安全第一



私たちの住む日本は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火など、さまざまな自然災害が場所を問わず発生しやすい環境にあります。

今、命や財産を守る防災・減災、国土・国民強靱化の推進は、社会にとって重要かつ喫緊の課題です。

地震を想定した避難訓練

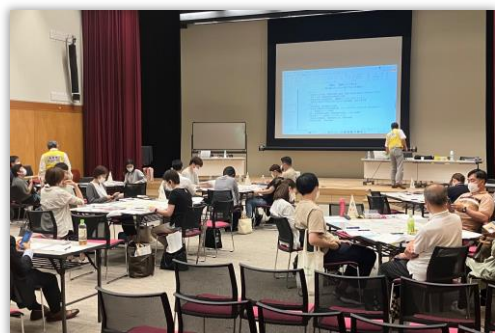
関東大震災から100年。一人ひとりが“災害大国（地震大国）”に生きていることを再確認し、命を守ることに視点を置いた実技中心の実践的な研修会を開催。

JINRIKI（ジンリキ：けん引式車椅子補助装置）を使用した避難誘導訓練では、中村社長のご指導により、坂道、砂利道、段差、階段などを難なくクリア。

日本赤十字社救急法指導員による心肺蘇生法、応急手当講習会も行い、命を救う学びを深めました。



災福ネット（長野県災害福祉広域支援ネットワーク協議会）



自然災害発生時の福祉支援力への期待。
3名の職員が更新研修を受講しました。

平時から顔の見える関係づくり、事業継続計画（BCP）策定、在宅・避難所における要配慮者支援、福祉事業所間連携を推進します。

安きに居りて危うきを思う
思えばすなわち備えあり
備えあれば患い無し

本当に役立つBCPの策定

自然災害の発災前・発災時・発災後の対応や事業継続計画（BCP）策定について学ぶ研修会を行いました。

地域等関係者（長野市職員、地区役員、民生児童委員、家族会役員）の方々にもご参加いただきました。

自然災害事業継続計画（BCP）を策定しました。



富竹区、長沼地区防災訓練への参加

富竹区・長沼地区防災訓練に参加しました。

この地区には、職員とその家族、ご利用者も多く生活をされています。

命を守るために、そして事業を継続するためにも、地区コミュニティタイムラインに基づいた情報伝達や避難行動などを知ることは、私たち福祉事業者にとって、とても重要なことです。日頃から、もしもの時に備えた災害に対する「心がまえ」と「顔の見える関係」が大切です。

富竹区・長沼地区住民自治協議会の皆さま、関係者の皆さま、ありがとうございました。



災害から命を守る、施設のレジリエンス向上

施設のレジリエンス性能を高めるため、キュービクル式高圧受電設備のかさ上げを行いました。

地球温暖化の影響もあり、局地的な集中豪雨や台風による水害が増加します。

災害抵抗力、回復力（災害などから立ち直る能力）を高める取り組みが重要です。



忘れていませんか？ 新型コロナウイルス以外の感染症



感染症は、新型コロナウイルスだけではなく、アルコール消毒が効きにくいノロウイルスや毎年1万人以上が発症する結核もあります。

今回は、依田窪病院の感染対策室感染管理認定看護師豊岡拓馬先生を講師にお招きし、シミュレーションや業務継続計画も含めた研修会を開催しました。

どんな感染症でも、標準予防策（基本的な感染対策）の徹底に変わりはありません。感染症事業継続計画（BCP）を策定しました。

質の高い死



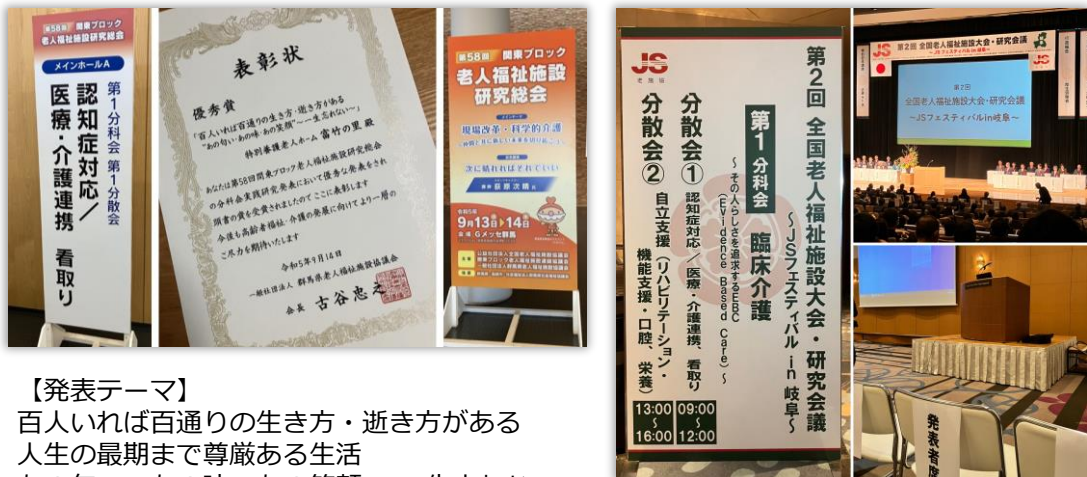
私たちは、ご利用者の人生の最期のフェーズに携わり、エンディングストーリーを適切につくり上げていく役割があります。ご利用者との会話をとおして、想いを尊重し、納得できるプロセスをガイドすることが責務だと思っています。

“百人いれば百通りの生き方、逝き方がある”

人生の最期まで尊厳ある生活（その人らしい生活）とご利用者・ご家族の意向に沿った看取りケアを支援します。

看取り介護をさせていただいたご利用者数

事業所名	退所者数	看取り実施者数	看取り率
特別養護老人ホーム富竹の里	16	13	81.3%
特別養護老人ホーム富竹の里和み	13	4	30.8%
介護付有料老人ホーム上松ホーム	8	4	50.0%
合計	37	21	56.8%

第58回関東ブロック老人福祉施設研究総会「優秀賞」
第2回全国老人福祉施設大会・研究会議「奨励賞」

【発表テーマ】

百人いれば百通りの生き方・逝き方がある
人生の最期まで尊厳ある生活
あの匂い・あの味・あの笑顔 ～一生忘れない～

～JSフェスティバルin岐阜～に長野県・関東ブロック代表として参加し、発表させていただきました。

会場でお聞きくださった約450名の皆さま、また、運営にご尽力された全ての皆さまに深謝申し上げます。

今後ご利用者のご家族に寄り添う支援を積み重ねます。

動画視聴 URL QRコード

<https://youtu.be/sIbLqwcfv5g>



看取りパンフレット作成

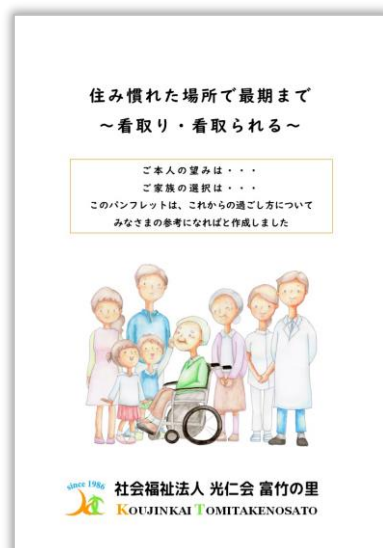
福祉施設での看取り介護を、ご利用者ご本人に代わって決断するご家族の精神的な負担には、

- 選択時の迷いと重責
- 選択後の衰弱する姿への悲しみ
- 決断の動揺
- 最期の時が近いと覚悟する悲哀

などがあります。

つらいのは、ご家族だけではなく、ご本人やご家族の想いに寄り添う職員も同様です。

そこで、“人生の最期まで尊厳ある生活”のため、看取りパンフレットを作成しました。



ACP推進 ～終の棲家でよく生きる～



「実家に帰りたい」
「兄弟姉妹に会いたい」
「30年間勤め続けたあの場所へ」
「死ぬ前にもう一度…」

特養で生活をするAさんの望みを叶えるため、弟さんや職員が一緒になって外出を企画。

戸隠にある実家で仏壇に手を合わせ、諦めていた兄弟姉妹・そして同級生との再会。今もしっかりと歴史を刻み続ける旅館。

「夢が実現した。生き合えた」と、一つひとつの場面で笑顔と涙がありました。

ACP（Advance Care Planning）とは、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのことです。

ご本人の意思表示ができるときに、行きたい場所、思い出の場所、会いたい人に再会できる外出をご家族と一緒に取り組んでいます。

看取りでもあきらめない。看取りからの大復活！

誤嚥性肺炎で入院されたご利用者Aさん。病院では食事摂れなくなり、看取り介護で退院。息子さんは、「最期まで自然に。食べられる、飲める範囲でお願いしたい」との意向。しかし、Aさんの人生はここでは終わらない。ご家族の理解もあって、多職種が一丸となって食事支援を開始。日に日に食欲も湧いてきて、看取りから大復活されたのです。

99歳の誕生日を迎えた翌月、自宅へ外出。仏壇に手を合わせ、写真をじっと眺めます。息子さんの作った紫蘇ジュースや自宅の庭で育った桃をまるごと堪能されました。



最期にもう一度…。

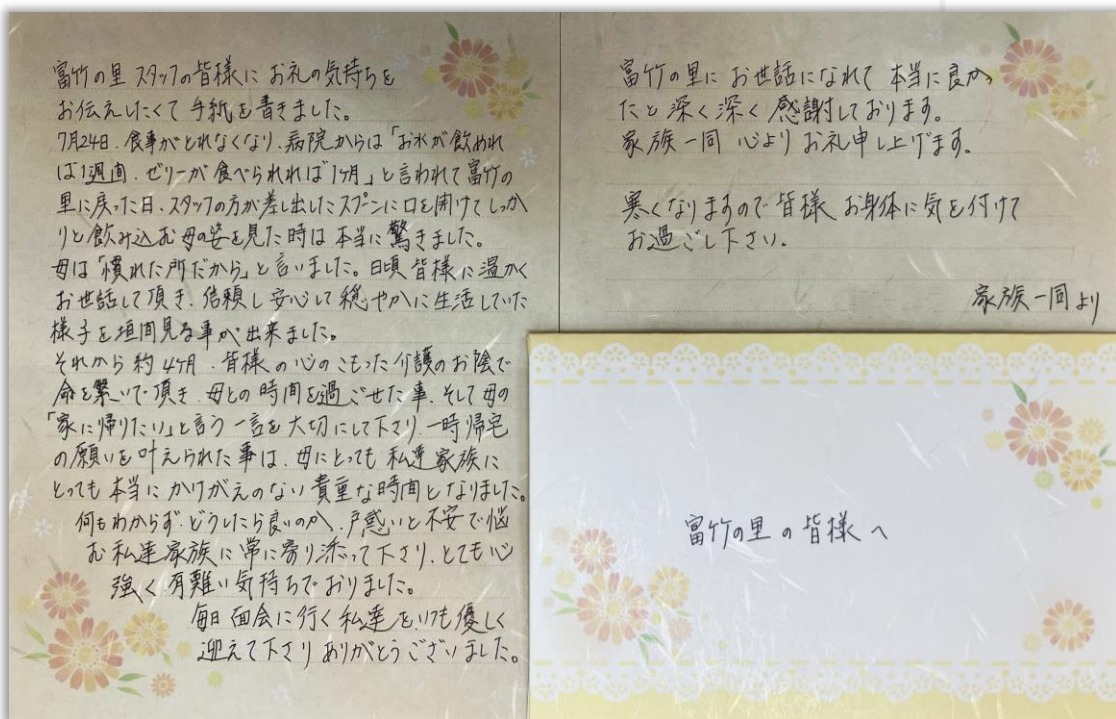


看取りで、病院から退院されたBさん。
毎日、毎日、娘さんは面会され、残り少ない時間を一緒に過ごしました。

「最期に家に外出させたい」
「家族みんなで、あの頃のように…」
娘さんからの願いです。

玄関前には10段の階段がありましたが、
早速、その願いを叶えます。

外出から2週間後、Bさんは娘さんに見守られながら、静かに息を引き取りました。



看取り支援をさせていただいた後に、ご家族から感謝のお手紙やお言葉をいただくことがあります。そこには、達成感や後悔など様々なお気持ちが含まれています。
私たちは様々なことを学び、また次の看取り支援に繋げています。

私たちが、看取り介護で大切にしている考え方

明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の 吹かぬものは

「明日でいい」と思っていて、機を逃してしまうことがよくある。
先延ばしにすることで、その時の気持ちは薄れていく。

「明日」は「明後日」に

「明後日」は「いつか」に

「いつか」は「永遠」に

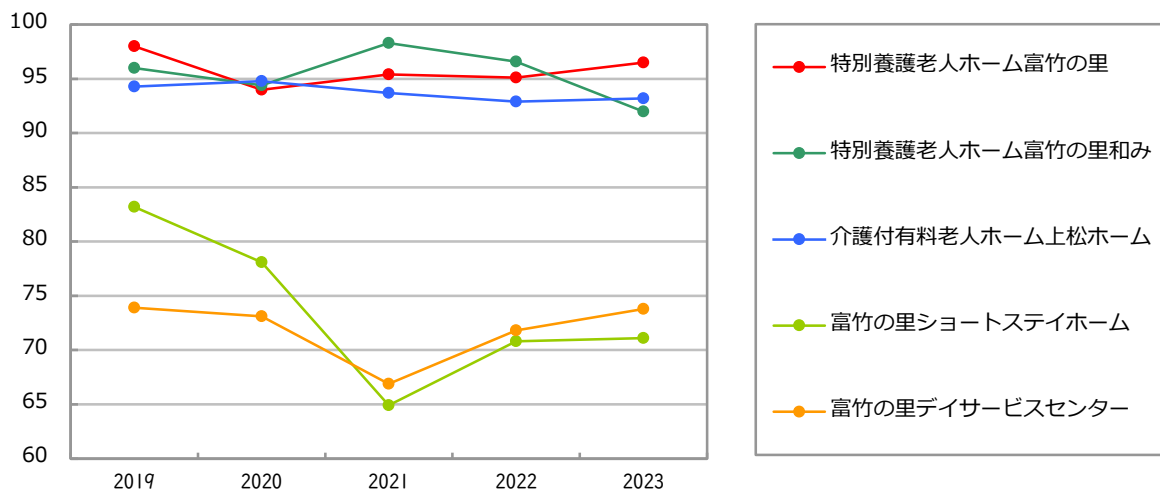
明日、自分や相手の命があるかなんてわからない。

だからこそ今を精一杯大切にしたい。

データ DATA

事業所毎の利用率等

事業所名	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
特別養護老人ホーム富竹の里	98.0	94.0	95.4	95.1	96.5
特別養護老人ホーム富竹の里和み	96.0	94.4	98.3	96.6	92.0
介護付有料老人ホーム上松ホーム	94.3	94.8	93.7	92.9	93.2
富竹の里ショートステイホーム	83.2	78.1	64.9	70.8	71.1
富竹の里デイサービスセンター	73.9	73.1	66.9	71.8	73.8

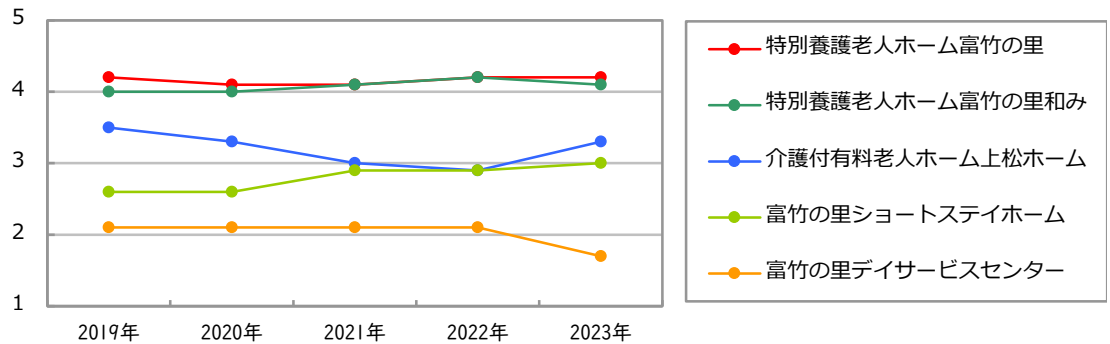


事業所毎の平均年齢

事業所名	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
特別養護老人ホーム富竹の里	88.5	87.8	88.0	87.0	88.4
特別養護老人ホーム富竹の里和み	88.7	89.4	89.8	91.1	88.5
介護付有料老人ホーム上松ホーム	90.5	90.7	89.5	90.4	91.1
富竹の里ショートステイホーム	89.5	90.0	90.6	90.9	90.7
富竹の里デイサービスセンター	87.9	88.3	88.3	88.1	88.9

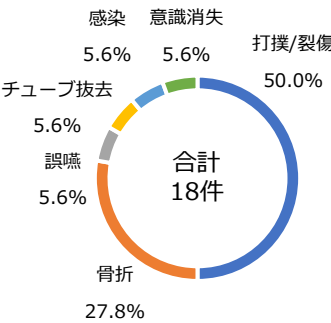
事業所毎の平均介護度

事業所名	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
特別養護老人ホーム富竹の里	4.2	4.1	4.1	4.2	4.2
特別養護老人ホーム富竹の里和み	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1
介護付有料老人ホーム上松ホーム	3.5	3.3	3.0	2.9	3.3
富竹の里ショートステイホーム	2.6	2.6	2.9	2.9	3.0
富竹の里デイサービスセンター	2.1	2.1	2.1	2.1	1.7



事故報告件数

種類	件数
打撲・裂傷	9
骨折	5
誤嚥	1
チューブ抜去	1
感染	1
意識消失	1
合計	18

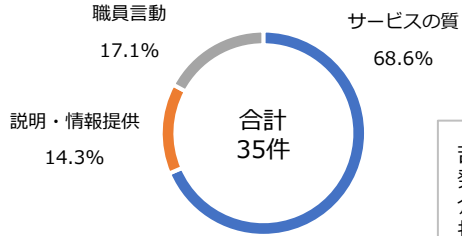


私たちは、長野市介護保険事故報告事務取扱要領に従い、介護保険サービス提供に当たり、以下の報告対象に該当する事故等が発生した場合は、長野市に報告を行っています。

- 1.利用者が死亡または負傷※した場合
※負傷とは、医師の保険診療を要したもの。
- 2.利用者が無届で外出し、警察・消防等に捜索協力を依頼した場合
- 3.その他事故により、利用者家族等から苦情が出ている場合

相談苦情件数

種類	件数
サービスの質	24
説明・情報提供	5
職員言動	6
合計	35



苦情解決第三者委員会を開催し、発生したすべての相談・苦情・介護事故について報告し、助言指導を頂きました。

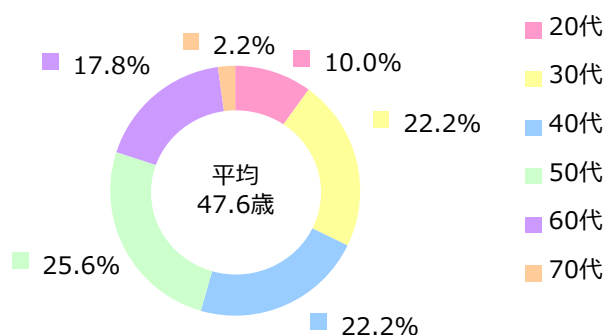
STAFFの数等

雇用形態	人 数
常勤	76
非常勤	14



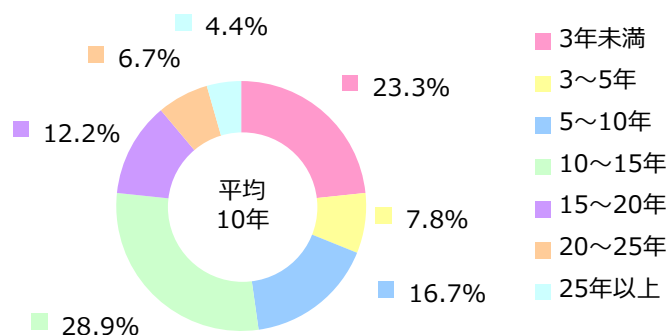
STAFFの年齢割合

年 代	人 数
20代	9
30代	20
40代	20
50代	23
60代	16
70代	2



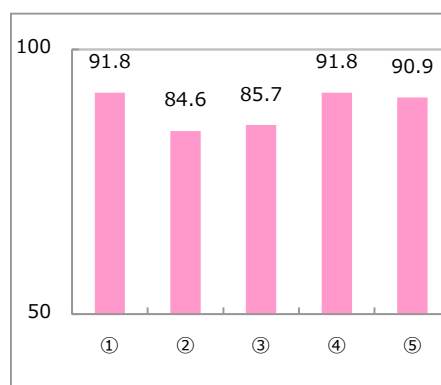
STAFFの勤続年数

年 代	人 数
3年未満	21
3～5年	7
5～10年	15
10～15年	26
15～20年	11
20～25年	6
25年以上	4



事業所毎（介護職員）の介護福祉士保有者数

	事業所名	保有率 (%)
①	特別養護老人ホーム富竹の里	91.8
②	特別養護老人ホーム富竹の里和み	84.6
③	介護付有料老人ホーム上松ホーム	85.7
④	富竹の里ショートステイホーム	91.8
⑤	富竹の里デイサービスセンター	90.9



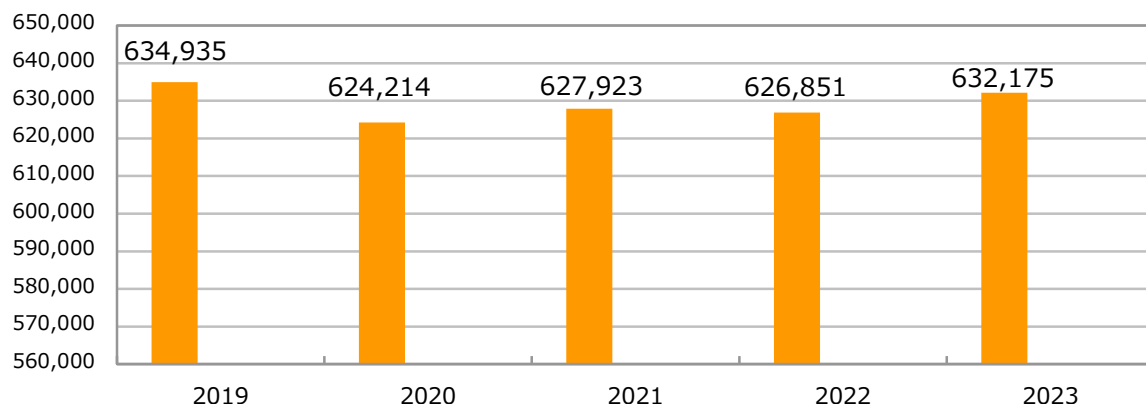
財務ハイライト Financial highlights



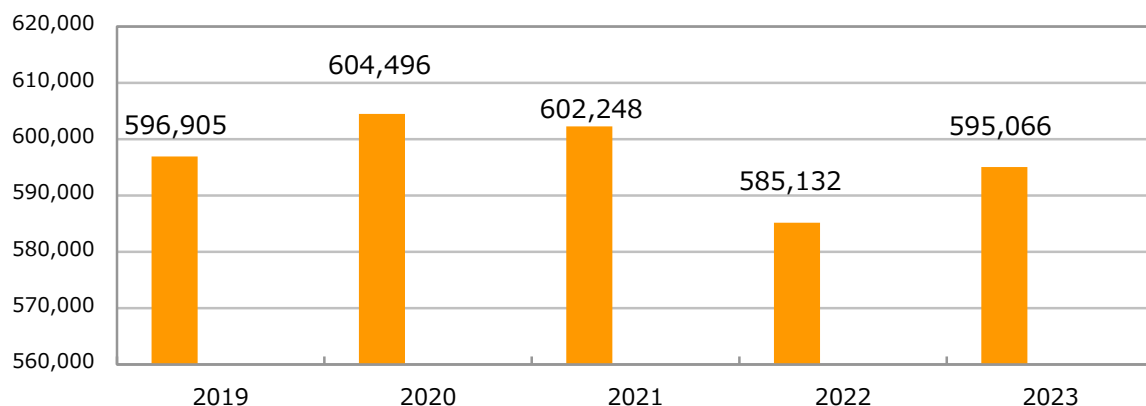
単位：千円

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
事業活動収入	634,935	624,214	627,923	626,851	632,175
事業活動支出	596,905	604,496	602,248	585,132	595,066
事業活動収支差額	38,030	19,718	25,674	41,719	37,109

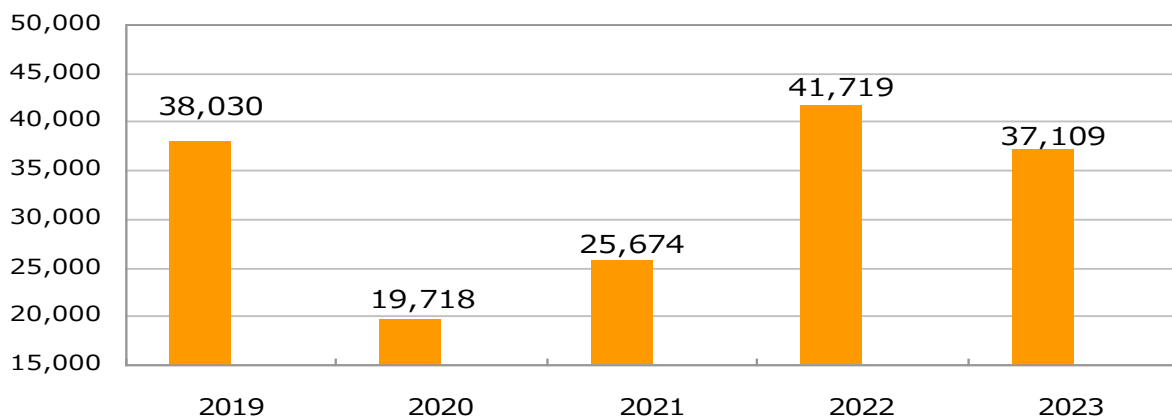
事業活動収入 Revenues



事業活動支出 Expenditures



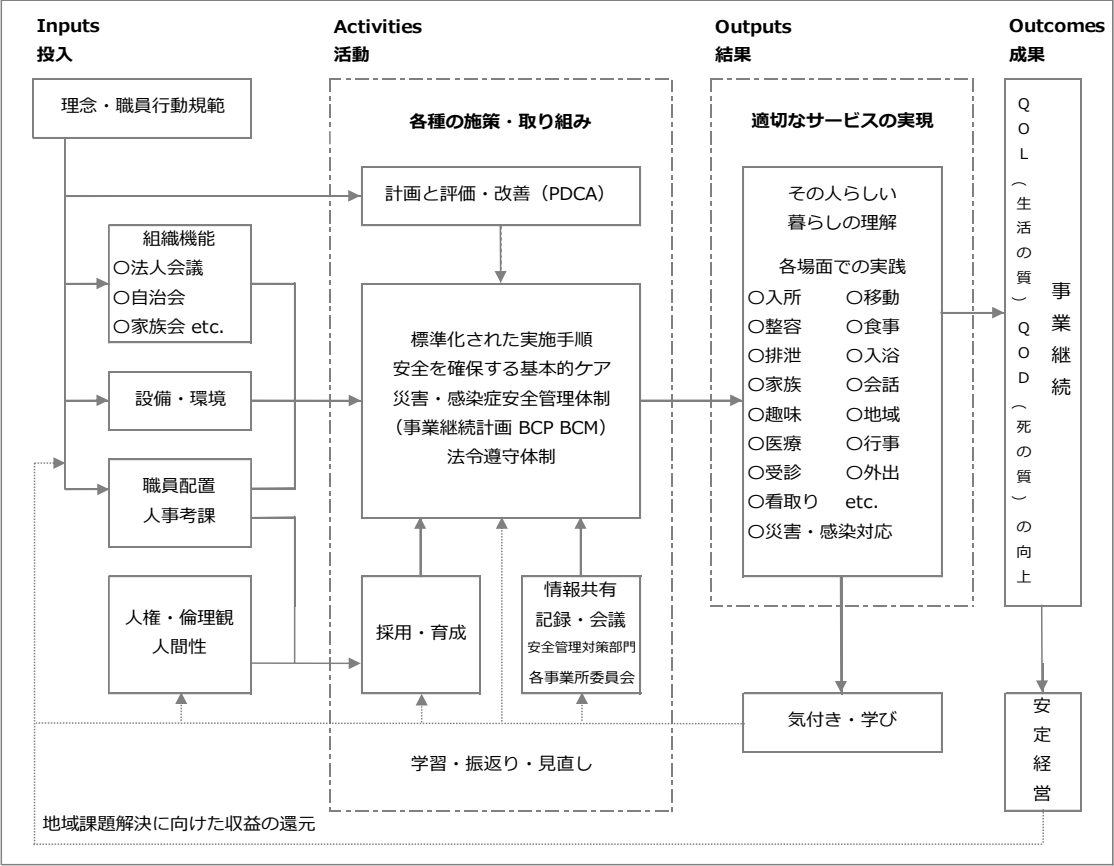
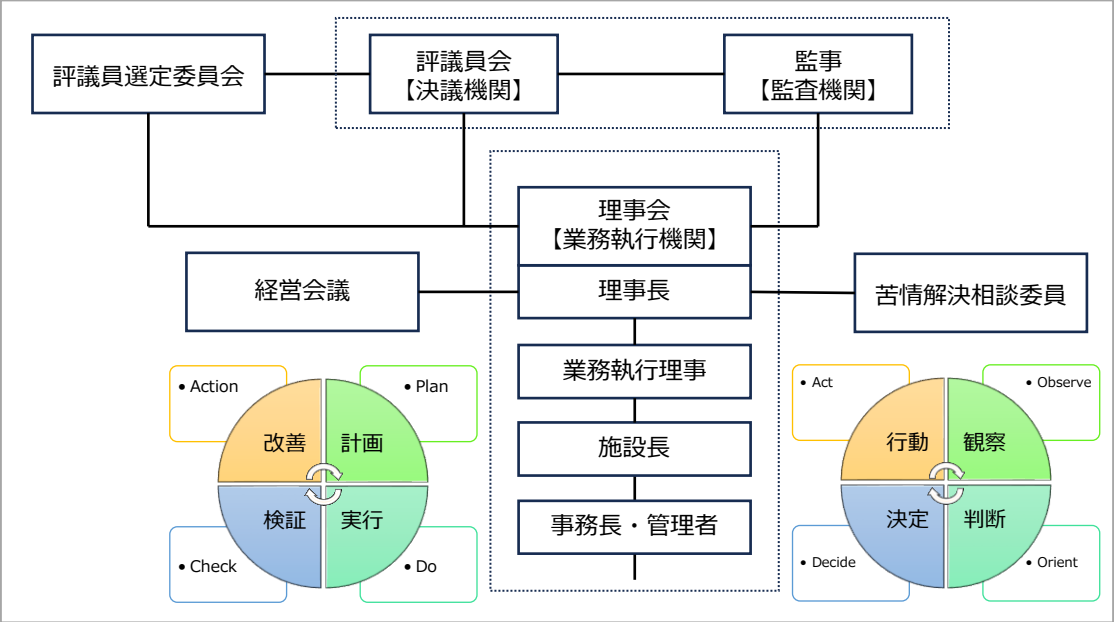
事業活動収支差額 Total balance for the term





企業統治 Corporate governance

事業活動における公正・公平かつ倫理的な行動や法令の遵守は、社会福祉法人としての社会的責任を自覚し、確実に果たすべき社会的責任の根幹であると考え、公正な事業慣行を通じて社会に信頼される法人を目指しています。



理事会・評議員会・評議員選任解任委員会 執行状況

開催年月日	場所	出席者	審議事項等
令和5年5月22日 理事会	富竹の里	理事5名 監事2名	・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算の承認 ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的事項 ・評議員選任候補者の推薦 ・新役員候補者の推薦案 ・理事長及び常務理事の職務執行状況
令和5年6月7日 評議員選任解任委員会	富竹の里	委員3名	・評議員の選任
令和5年6月21日 定時評議員会	富竹の里	評議員9名	・令和4年度決算の承認 ・役員の選任 ・令和4年度事業報告
令和5年6月21日 理事会	富竹の里	理事6名 監事2名	・理事長及び常務理事の選定 ・富竹の里 受変電設備改修及び高上げ工事
令和5年7月20日 理事会	決議の省略	理事6名 監事2名	・上松ホーム エアコン一部更新工事契約締結
令和5年9月5日 理事会	決議の省略	理事6名 監事2名	・富竹の里 受変電設備改修及び高上げ工事 一般競争入札の実施 ・職員就業規則の一部変更
令和5年9月27日 理事会	決議の省略	理事7名 監事2名	・富竹の里 受変電設備改修及び高上げ工事 工事請負契約締結
令和5年11月25日 理事会	富竹の里	理事6名 監事2名	・補正予算 ・理事長及び常務理事の職務執行状況
令和6年1月13日 理事会	決議の省略	理事6名 監事2名	・富竹の里和み エアコン一部更新工事契約締結
令和6年2月9日 理事会	決議の省略	理事6名 監事2名	・令和5年度臨時評議員会の開催 ・新役員候補者の推薦案
令和6年2月20日 臨時評議員会	決議の省略	評議員9名	・役員の選任
令和6年3月23日 理事会	富竹の里	理事8名 監事2名	・補正予算 ・令和6年度事業計画書（案） ・令和6年度当初予算書（案） ・給与規定の一部改正 ・評議員選任候補者の推薦 ・上松ホーム、富竹の里デイサービスセンター 運営規程の一部変更 ・理事長及び常務理事の職務執行状況
令和6年3月23日 評議員選任解任委員会	富竹の里	委員3名	・評議員の選任

寄付金報告

退所された特養のご利用者ご家族 1 名の方から、総額 5 千円のご寄付を頂戴しました。

各事業所のトピックス Topics of each business office

特別養護老人ホーム富竹の里（定員56名） 富竹の里ショートステイホーム（定員8名）



歯科医師や歯科衛生士と連携した体制を整え、L I F Eを用いた厚生労働省へのデータ提出とフィードバックの活用を開始しました。新型コロナウイルス感染症の5類への位置付け変更もあり、「その人らしさ」や「本人・家族の希望の実現」に重点を置き、積極的な外出支援を再開、看取り支援を推進しました。
COVID-19発生：令和6年2月（職員7名、ご利用者10名）
退所者：16名、入院延べ日数：510日、空床数：263日

ご利用者の利用状況（R6.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
11人	43人	54人	101歳	63歳	12年	3年2か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	11人	21人	22人	54人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	0人	2,560人	10,223人	6,940人	19,723人	54.0人

（富竹の里ショートステイホーム）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
5人	14人	443人	302人	520人	374人	419人	2,077人	5.7人



特別養護老人ホーム富竹の里和み（定員20名）



歯科医師や歯科衛生士と連携した体制を整え、L I F Eを用いた厚生労働省へのデータ提出とフィードバックの活用を開始しました。新型コロナウイルス感染症の5類への位置付け変更もあり、家族の絆に深く関わる面会場所は、居室となりました。（COVID-19発生）

①令和5年8月（職員1名、ご利用者2名）

②令和6年1月（職員5名、ご利用者4名）

退所者：13名、入院延べ日数：325日、空床数：343日

ご利用者の利用状況（R6.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
6人	14人	20人	105歳	62歳	10年	3年1か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	6人	10人	4人	20人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	年間延べ人数	1日平均
0人	0人	1,556人	2,873人	2,289人	6,718人	18.4人

介護付有料老人ホーム上松ホーム（定員24名）



新型コロナウイルス感染症が5類となってから、面会方法を窓越しから居室内対面による面会に変更しました。体調・接触状況確認、マスク着用、手指消毒、換気等の基本的な感染対策を徹底しながら、ご利用者とご家族、職員とご家族とのふれあいの場が増えたことで、よりご家族との情報共有や密なコミュニケーションをとることができました。行事では、ボランティアの方による演奏会等も再開し、活気ある行事やご利用者の笑顔を見ることができました。事業所内では、職員（家族含む）の陽性はありませんでしたが、ご利用者への感染はありませんでした。

年6回開催している運営推進会議も対面による会議を再開し、ご家族代表者や地域の方、行政の方にもご参加いただき、「顔の見える」会議として報告をしたり、ご意見等を頂きました。

ご利用者の利用状況（R6.3.31現在）

男	女	計	最高年齢	最低年齢	最長入所	平均入所
5人	18人	23人	99歳	79歳	11年	2年11か月

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1人	5人	4人	8人	5人	23人

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
1,374人	995人	1,261人	2,857人	1,681人	8,168人	22.4人

富竹の里デイサービスセンター（定員35名）



昨年度を上回る新規利用者の受け入れがありましたが、支援終了となるケースも多くありました。施設入所など入所系サービスへの切り替えのタイミングも要介護1～3という早い段階での判断をされるケースが増えてきています。このような中でも、昨年度よりも多くの方にご利用をいただくことができました。

事業計画に基づき行う各種行事等は、感染症対策を講じながらの実施でしたが、外部ボランティアの受け入れも再開することができました。

感染症対策は、前年度の対応を継続する中で、マニュアルなどを適宜見直し、対応しました。

3月の一定期間に複数名の感染者が確認され、感染拡大の予防を目的に休止することで、大規模なクラスターは発生せず、営業を継続することができました。

理学療法士等の機能訓練指導員を配置し、身体機能、生活機能の維持・向上を目指し機能訓練を行いました。一人一人の目標を設定、身体状況や意欲に合わせた個別機能訓練を実施することで、個別機能訓練加算、一定の評価期間の中でADLが維持できていると認められ、ADL維持等加算、要介護度が3～5の割合と職員基準を満たし、中重度ケア体制加算を算定しました。

ご利用者の利用状況

【介護保険・相当サービス】

- ・新規契約者 37名
- ・契約終了者 39名（死亡23名、特養入所5名、その他入所7名、他事業所へ変更1名、転居2名）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
94人	237人	970人	3,943人	1,736人	1,039人	815人	537人	9,371人	25.8人

中重度の割合：29.6%、稼働日数：362日

光仁会富竹の里介護支援センター



ご本人の尊厳を守り、最適なケアマネジメントや支援を常に心掛け、医療や各関係機関とも連携を図り、相談・調整・会議やカンファレンス等を実施し、ケアプラン作成、各種研修等を行いました。

新規契約51件は、地域包括支援センターや病院等からの依頼に加え、直接ご家族や事業所等からの担当依頼も増えており、介護保険認定前の段階から介入し、各関係機関との密な連携と迅速な対応でスムーズな在宅生活が送れるよう調整支援を積み重ね、延べ100

回以上の加算算定に至りました。標準受け持ち件数を超えたため職員を増員し体制の強化を図り、ICT機器導入を検討し、効率化と満足度向上につながるよう進めました。

終了契約32件は、ご自宅での看取りも含め、人生の最終段階までその方らしく生活ができるよう配慮し支援しました。また、在宅生活が困難となったご利用者が次のステージでも安心して生活ができるよう入所施設や入居ホーム、病院等と連携を図り情報提供も行いました。

ケアプラン作成件数等

介護給付 介護予防給付 介護予防ケアマネジメント（総合事業）	延べ1,285件 延べ128件 延べ68件	契約終了内訳 ・死亡21名 ・特養入所2名 ・介護付有料老人ホーム入居2名 ・グループホーム入居1名 ・小規模多機能型居宅介護入居1名 ・老健長期入所1名 ・長期入院1名 ・予防給付移行2名 ・ケアマネジメント移行1名
新規利用（介護） （介護予防） （介護予防ケアマネジメント）	46件 3件 2件	
入院時連携加算 退院・退所加算 初回加算(2段階変更、再開含む) 通院時情報連携加算	37回 15回 51回 3回	
契約終了	32件	

長野市地域包括支援センター富竹の里



地域包括支援センターは、福祉・保健・医療などに関する高齢の皆様の総合相談窓口としての役割を担っております。社会福祉士・保健師（看護師）・主任介護支援専門員の専門職が配置されています。今年度も感染対策のため引き続き在宅ワークを導入しました。

また、令和5年度5月8日から新型コロナウイルス感染症が第5類感染症になりました。そこで認知症カフェの再開を試みましたが、

柳原地区での開催は老人施設を併設しているため、再開できておりません。古里地区では、令和5年12月にケアサポート太陽の事業所で、認知症カフェを立ち上げる事が出来ました。地域ぐるみで助け合い、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指します。

- ・総合相談支援事業は、高齢の皆さんやご家族、地域からの生活全般の悩みや相談について必要な支援につなぎました。また、認知症の方の相談に応じ支援を行い、地域の高齢の皆さんの実態把握を行い、必要な支援を提供できるよう早期の対応に努めました。
- ・権利擁護事業は、支援が必要な高齢の方が適切な福祉サービスや金銭管理の支援が受けられるように成年後見制度の活用、虐待の未然予防や対応を行いました。各地区民生児童委員協議会に出席し、消費者被害の防止について情報提供しました。
- ・包括的継続的ケアマネジメント事業は、年2回管内ケアマネジャー連絡会にて情報共有し、意見交換等を行いました。また、高齢の方が暮らしやすい地域になるよう様々な機関と協力しながらネットワークづくりに努めました。
- ・介護者教室は、古里住民自治協議会と長沼住民自治協議会と共催し、講演会等を行いました。
- ・介護予防ケアマネジメント事業は、介護保険の認定が要支援1・2の方及び事業対象者（基本チェックリストにより、国の基準に該当した要支援1相当の人）のサービス計画を作成し、自立した生活を目指して支援しました。

ケアプラン作成件数等

予防給付ケアプラン作成数	137件
総合事業ケアプラン作成数	193件
介護予防給付件数	1,759件 うち委託463件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	1,589件 うち委託197件

相談件数

介護保険	396件
住宅福祉サービス	39件
施設・住まい	44件
医療	25件
高齢者虐待	58件
成年後見制度	7件
消費者被害	2件
その他	73件
合計	644件

主な会議・研修会への出席

会議・研修名	回数
民生委員定例会（古里・長沼・柳原地区ケア会議）	32回
長野市東北3地区地域ケア会議ネットワーク会議	1回
長野市高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会への出席（社会福祉士）zoom参加	1回
地域密着型サービス運営調整会議への出席（計11事業所） （ケアライフ柳原・柳原ふれあい荘・グループホーム太陽・グループホームフランセーズ悠柳原・グループホームながめま・特別養護老人ホーム富竹の里和み、デイサービスねむの木、エフビー柳原デイサービス・デイサービスふらっと柳原・デイサービスながめま・看護小規模多機能あったかホーム柳原）	22回
柳原地区ふくし相談会ネットワーク会議への出席（柳原地区住民自治協主催）	3回
長沼地区「介護者のつどい」職員派遣8月（長沼地区住民自治協共催）	1回
古里地区「介護者教室」職員派遣8月（古里地区住民自治協共催）	1回
認知症サポーター講座 柳原地区 職員派遣（柳原小学校4年生対象）	1回
認知症サポーター講座 古里地区 職員派遣（古里地区 東北中学校・福祉健康委員）	2回
認知症カフェ「ふるさと宇宙（そら）カフェ」職員派遣（古里住民自治協議会共催）	4回

社会福祉法人光仁会富竹の里

発 行 2024年5月

責任者 施設長 嶋田 直人

〒381-0006 長野市大字富竹1621番地

TEL026-296-7383 FAX026-296-7384

<http://tomitake-carenet.com>

